

(ハ) 支部長会議開催について

(ニ) 専用電話の新設について

◎総会

別記

◎会誌第30号編集委員会

1. 昭和53.12.26
2. 委員 江上・沢崎・松本忠・竹内正・生田・滝波・土田・牧野
3. 大学設置30周年、会誌通巻第30号を記念して、「特集号」とする。
4. 寄稿依頼を広範囲にわたっている。
5. 原稿の取捨選択、添削はしないことを建前とする。
6. 校正は委員会である。

◎名簿

昭和53.7.1 昭和53年度版を発行する。

◎理事会

1. 昭和54.1.22(月) 福井人絹会館 出席者 24名
2. 昭和54.3.20卒業の新入会員の歓迎会を開催することに決定。卒業証書入れ筒は従来通り贈る。
3. 昭和54年度総会について
関東支部主催の順番であるが、2月中旬開催予定の支部長会議で決定することとする。
4. 会誌第30号発行について
(イ) 特集号とする。(ロ) 大学工学部各科、施設の紹介依頼。(ハ) 編集については理事会の責任において委員会である。(ニ) 表紙はカラーで大学の全景とする。

◎支部長会議

1. 昭和54.2.20 大阪市 東洋ホテル
2. 昭和54年度定期総会を昭和54.6.2(土)、関東支部との共催を決定。
3. 各支部総会案内は会誌発行(4月末予定)までに間に合うものについては会誌に記載する。
4. 各支部の現状(構成都道府県、事務所所在地)の確認
5. 名簿は現在のように無償のままでもよいか検討する。

◎昭和53年度卒業の新入会員歓迎会

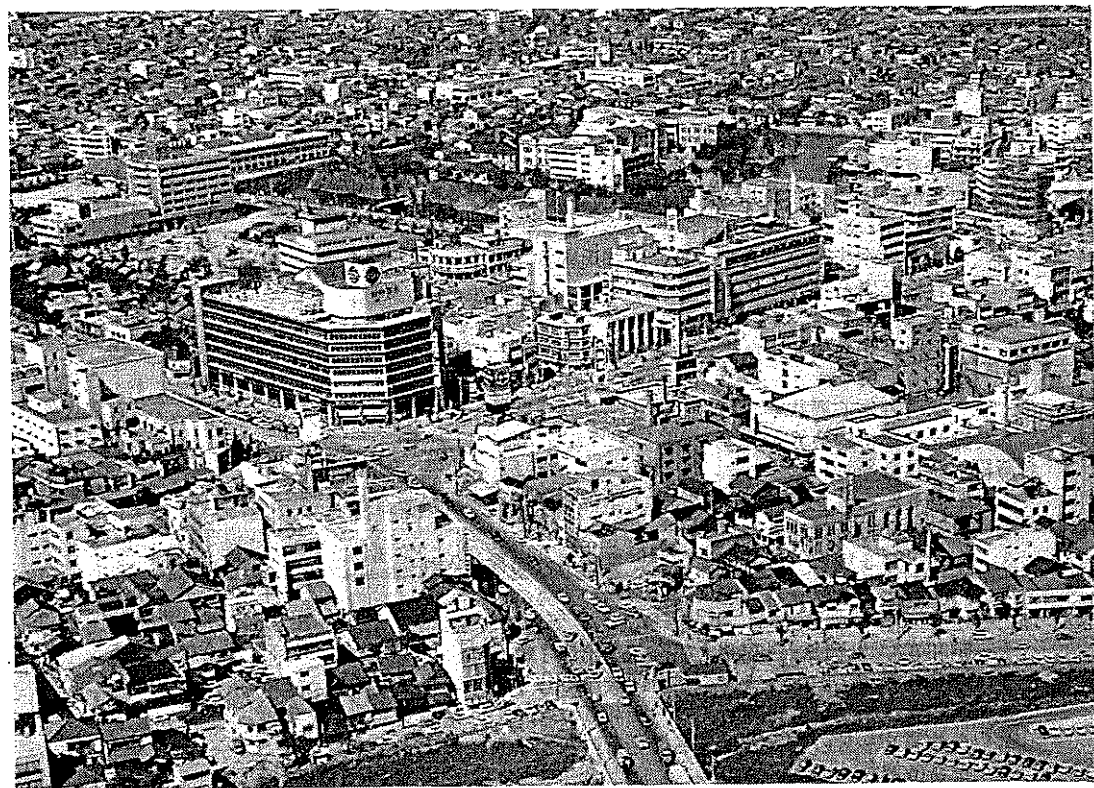
1. 昭和54.3.20 卒業証書授与式終了後。
2. 福井大学学生食堂において
3. 出席者 工学部長、学科主任、理事長、理事、大学卒、大学院修 390名
4. 黒川理事長挨拶、八木工学部長祝辞、生田、池田両理事歓迎の辞、岩堀学生代表謝辞、土田理事司会にて盛会。

昭和53年度福井大学工業会総会報告

東海支部長 横江 劔一

1. 日時 昭和53年6月3日(土)
2. 会場 名古屋市中区栄4-2-18
ロイヤルホテル弁天閣
3. 理事会 (午後1時~2時) 出席者 24名
議事
(イ) 昭和52年度会計決算について
(ロ) 昭和53年度事業計画と予算案について
(ハ) 役員改選について
以上各件とも原案通り承認、なお関東支部長より次期総会は東京において開催したい旨の申し出がありました承。
4. 総会 (午後2時~3時) 参加者 84名
次第
(1) 開会の辞 越野 実理事
(2) 理事長挨拶 黒川 誠一理事長
(3) 会務報告 沢崎吉太夫常任理事報告
(4) 議長選出 議長に東海支部長を選出
(5) 議長挨拶
(6) 議事
(イ) 昭和52年度会計決算について
沢崎吉太夫常任理事説明
生田 篤治監事監査報告
原案通り承認(別記)
(ロ) 昭和53年度事業計画及び予算について
(ハ) 役員改選について
(ニ) その他、会員名簿発行等
沢崎吉太夫常任理事説明
何れも原案通り承認(別記)、議事終了
(7) 来賓祝辞 八木 寿郎工学部長
若杉 専太旧教授
(8) 来賓紹介 特別会員たる現職先生にて臨席されている方々を紹介
(9) 閉会の辞
5. 東海支部総会 支部役員会の決定に基づき省略
6. 記念撮影 写真室に移り撮影、来会者に後日郵送
7. 懇親会 (午後3時~4時半) 参加者 72名
先ず理事長の挨拶の後懇親パーティーに入る。
地元より増谷忠男(T2) 矢橋彦四郎(M4) 石田錠太郎(A5)の各氏が繊維、機械、建築を代表して歓迎の挨拶をし、東海支部長が進行係をつとめ、三國節等のど自慢も飛び出し歓談。
8. 万歳三唱、福井高工工専校歌合唱、解散

~1979(S54)年 4月~



再三の試練に耐えて立派に立ち直った福井市の中心地